

博物館資料保存論

概論

No.	書名 / 論題	編著者	資料の解説 / コメント
23	学芸員しか知らない美術館が楽しくなる話	ちいさな美術館の学芸員著	展覧会の作り方、学芸員の仕事ほか、現役学芸員が語る美術館の舞台裏と、美術鑑賞の楽しみ方。
24	美術館学芸員という仕事	日比野秀男編著	学芸員資格の取得方法から具体的な日常業務までを分かりやすく解説しています。学芸員の生の声も多数掲載。
25	KANSAI大学博物館ガイド	大坪覚著	多くの大学が博物館施設を設けてコレクションや研究成果を公開しています。関西圏の大学博物館を紹介するガイドブック。
26	新博物館園論	小林秀司, 星野卓二, 徳澤啓一編	自然史・科学博物館、動植物園など自然系館園の学芸員を目指す人のための指南書。
27	博物館実習マニュアル	全国大学博物館学講座協議会西日本部会編	西日本で学芸員課程を開講する大学スタッフや博物館関係者が作成した、実習の実務マニュアル。実習館側にも、学生側にも役立つ一冊。
28	博物館の理論と教育	浜田弘明編	学芸員養成課程に対応した教科書。博物館の定義や学芸員の社会的役割といった基本的事項を押さえる。
29	新課程 博物館学ハンドブック<1>	米田文孝, 森隆男, 山口卓也編著	博物館学のコンパクトな教科書。 <1>概論、経営論、博物館資料論を収録。
30	新課程 博物館学ハンドブック<2>	米田文孝, 森隆男, 山口卓也編著	博物館学のコンパクトな教科書。 <2>展示論、資料保存論、情報・メディア論、教育論を収録。
31	新課程 博物館学ハンドブック<3>	米田文孝, 森隆男, 山口卓也編著	博物館学のコンパクトな教科書。博物館実習についてまとめる。
32	新時代の博物館学	全国大学博物館学講座協議会西日本部会編	学芸員資格取得には、博物館の役割を細かな単位で学び、知識を得ることが求められています。
33	新編博物館概論	鷹野光行 [ほか]編	博物館や博物館学の定義をや歴史をまとめ、学芸員の役割を問う。
34	博物館学	吉田憲司編著	放送大学の学芸員資格科目の教科書。類書に『新博物館学教科書(全4巻)』
35	博物館学ハンドブック	高橋隆博, 森隆男, 米田文孝編著	博物館で求められる基礎知識とは。図版も多いビジュアルな入門書。
36	美術館の原則と美術館関係者の行動指針	全国美術館会議美術館運営制度研究部会編	博物館職員、学芸員、必読の行動規範。
37	博物館危機の時代	辻秀人編	指定管理者制度など、博物館が直面する課題を正面から取り上げています。
38	博物館が壊される! 博物館再生への道	青木豊, 辻秀人, 菅根幸裕編著	相次ぐ法改正等で、日本の博物館はどこへ向かうのか。観光、活用が重視される現状を分析します。
39	市民のなかの博物館	伊藤寿朗著	市民が創るひらかれた博物館を提唱し、その理論化をめざした著者の遺作。市民、地域社会、博物館の連環を見据えた本書は、今でも色あせません。
40	思想としてのミュージアム: ものと空間のメディア論	村田麻里子著	メディア論から博物館を読み解き、博物館ブームと博物館冬の時代が同時にきている日本の思想的背景を示しています。

41	博物館の仕事	8人の学芸員著	学芸員が紹介する博物館での仕事。資料保存活用機関としての姿が良く分かります。
42	日本の美術館めぐり：企画展だけじゃもったいない	浦島茂世著	日本全国の主な美術館を、常設展示やコレクション展に注目し、日常の魅力を紹介する。
43	学芸員の仕事	神奈川県博物館協会編	学芸員の仕事って何？現場からの声を集め、展示、保存、普及などに分けて紹介。博物館の仕事ガイド。
44	キュレーションの現在：アートが「世界」を問い直す	フィルムアート社編	現在「キュレーション」は、アート、美術館以外の領域でも使われます。多様化した方法や役割を語る。類書『キュレーション：「現代アート」をつくったキュレーターたち』
45	地域に生きる博物館	徳島博物館研究会編	地域の博物館が、実際にどう地域や市民と関わっていくのか。日々の苦悩を紹介し、現場へと問いかけるメッセージ。
46	博物館の未来をさぐる	神奈川県博物館協会編	博物館の今日的課題や実践事例を紹介し、将来の可能性を展望。神奈川県でのシンポジウム記録。
47	フランスの博物館と図書館	M.フラン＝モンマイユール [ほか] 著；松本栄寿、小浜清子訳	図書館・博物館の共通点と違いを明示したうえで、公開・利用法や、研究・生涯学習の機能を論じます。
48	ミュージアムの思想	松宮秀治著	西欧の博物館がどのような思想的背景から生まれ、拡大発展してきたかを読み解く。新装版あり。
49	現代に生きる博物館	君塚仁彦、名児耶明編	学芸員として身につけておきたい基礎理論や歴史、法制度、仕事内容などを平易に解説。現場をイメージしながら学べるよう配慮。
50	現代社会と博物館	大塚和義編著	博物館の現代社会におけるあり方を、現場から考察。類書に『多様化する博物館』『博物館の仕事』
51	現代美術キュレーターという仕事	難波祐子著	展覧会の企画運営に携わるキュレーターの仕事について、日本の学芸員と対比しつつ紹介。類書『キュレーション：知と感性を揺さぶる力』
52	西洋博物学者列伝：アリストテレスからダーウィンまで	ロバート・ハクスリー編著；植松靖夫訳	自然界を探求する博物学は近代諸科学の根底にあり、博物館の収集展示の出発点でもあります。博物学者の歩みから、博物館誕生以前の知の営みをたどる。
53	多様化する博物館	大塚和義編著	博物館の多様化と現代社会への対応を現場から考察。類書に『博物館の仕事』『現代社会と博物館』
54	二十一世紀博物館：博物資源立国へ地平を拓く	西野嘉章著	博物館を戦略拠点と捉え、記憶の集積や資源化などを論じ、日本の博物館のあり方を検討しています。
55	博物館が好き！学芸員が伝えたいこと	奈良文化財研究所監修	博物館の多様な活動を、あつめる、みせる、ひろげる、といったテーマごとに紹介。博物館への熱い思いが伝わってきます。
56	博物館という装置：帝国・植民地・アイデンティティ	石井正己編	帝国主義や植民地主義のもとで進められた博物館活動と収集資料は、当時の政治性を反映し、近代を物語ります。博物館の歴史的な位置づけ、存在意義を問い直す。
57	博物館の仕事	大塚和義、矢島國雄編著	現代の博物館における業務内容を紹介。類書に『多様化する博物館』『現代社会と博物館』
58	博物館の新潮流と学芸員	浜田弘明著	近年の学芸員や博物館学に関する論議を踏まえ、これからの博物館の課題と展望を提示しています。
59	博物館学年表：法令を中心に：1871→2012	椎名仙卓、青柳邦忠著	日本の博物館学の歴史的展開を、法令に着目して整理。解説も細かく、日本の博物館の歩みをうかがえます。なお文化財については『文化財保護法五十年史』（ぎょうせい、2001）他を参照。
60	美術館はどこへ？：ミュージアムの過去・現在・未来	暮沢剛巳著	国民国家の成立と歩調をあわせて誕生した歴史、現在のメディアテークなど、時代を映す鏡としての美術館の姿を示す。「場所」「記憶」の問題として捉えるミュージアム論。
61	美術館は生まれ変わる：21世紀の現代美術館	太田泰人 [ほか] 編著	建築を主とした欧米美術館の動向を紹介。ただ本書が提示する美術館プログラムは、博物館の展示や普及活動全般を見据えています。

62	北の学芸員とっておきの《お宝ばなし》	北海道博物館協会 学芸職員 部会編	北海道に根付く特色ある自然・産業・文化を紹介。道内各地の博物館職員が熱く語る、とっておきの話題。
63	歴史のなかのミュージアム 驚異の部屋から大学博物館まで	安高啓明 著	博物館の意義を歴史的に考察。また海外と日本の博物館を比較検討し、今後の博物館のあり方を再検討する。
64	機構・運営の理想と現実	湯本豪一 編	美術館・博物館の現在を、経験に即して綴る。機構・運営・職員・予算の問題を扱う。
65	子ども博物館美術館事典	日外アソシエーツ編 集部編	全国の博物館・美術館・科学館・大型児童館へのアンケート調査に基づき、子ども向けの展示、体験学習、グッズなどを紹介。館名索引付き。
66	近代日本と博物館：戦争と文化財保護	椎名仙卓 著	近代における博物館の苦難の歴史を、戦時下のエピソードを中心に紹介しています。
67	地域主権の国ドイツの文化政策：人格の自由な発展と地方創生のために	藤野一夫, 秋野有紀, マティアス・テーオドア・フォークト	地域主権に根ざした現代ドイツの文化政策を明らかにし、市民が芸術文化と社会とを結びつける活動を考察します。類書に『文化国家と「文化的生存配慮」：ドイツにおける文化政策の理論的基盤とミュージアムの役割』
68	文化芸術基本法の成立と文化政策：真の文化芸術立国に向けて	河村建夫, 伊藤信太郎編著	2017年に出来たこの法律の、表現の自由、内容不関与の原則等の特徴を解説し、文化政策の今後を指し示します。
69	芸術としての身体：舞踊美学の前線	尼ヶ崎彬 編訳；D.レウvin[ほか]著	学芸員が活躍できる現場のひとつが演劇です。どんな演劇を上演し人々に届けるかを考えるコーディネーターとしての役割にも役立つ、基本の演劇論。類書に『舞踊のコスモロジー』
70	ユネスコと博物館	栗原祐司 [ほか] 著	ユネスコではどのように博物館やコレクションについて認識してきたのか。いまだどこに向かおうとしているのか。ICOMの最新動向を見据え、世界と日本の博物館のあり方を考えます。
71	美術館って、おもしろい!：展示会のつくりかた、働く人たち、美術館の歴史、裏も表もすべてわかる本	モラヴィア 美術館著； 阿部賢一, 須藤輝彦 訳	美術館の成り立ちや展示など日常の活動を、図解し紹介しています。
72	博物館と文化財の危機	岩城卓二, 高木博志 編	関連法改正が続いた博物館。文化財保護の進展が期待される反面、活用、観光経済一辺倒の姿勢は現場を疲弊させている。問題をあぶり出す。
73	みんなでまもった美術館：宮城県美術館の現地存続運動全記録	宮城県美術館の現地保存を 求める県民ネットワーク編	内容は表題等の通り。そして言い換えれば、「この本を読むと美術館・博物館の地域でのあり方が、とても良く分かる」。
74	ロスト・イン・パンデミック：失われた演劇と新たな表現の地平	後藤隆基編	コロナ禍で特に演劇、舞台芸術は大きな打撃を受けると共に、新たな演劇の形を模索してきた。演劇の灯をともし続ける記録。
75	基礎から学ぶ博物館法規	栗原祐司著	博物館報の条文の内容や背景を丁寧に解説。博物館行政を知る上でも必読の書。
76	新時代のミュージアム：変わる文化政策と新たな期待	河島伸子, 小林真理, 土屋正臣 著	文化政策が大きく変わる日本。ミュージアムの活動、地域との関わりなどを問い直します。
77	発信する博物館：持続可能な社会に向けて	小川義和, 五月女賢司編著	博物館は何をどう発信していくのか。社会に向けた活動を実例から考えます。
78	学芸員がミュージアムを変える!：公共文化施設の地域力	今村信隆, 佐々木亨 編	人びとの生き方を支える、ミュージアムの可能性を、具体的例と共に考えます。

79	博物館の近代：朝鮮総督府時代の様相	前川公秀著	朝鮮総督府時代に朝鮮半島で計画・開設された博物館について、史料から丹念に復元する。
80	アンチ・アクション：日本戦後絵画と女性画家	中嶋泉著	戦後美術史を問い直し、女性画家を美術史に組み込む試み。
81	博物館学・美術館学・文化遺産学基礎概念事典	フランソワ・メレス、アンドレ・デバレ編；水嶋英治訳	博物館学、文化遺産、学芸員や制度について、網羅的に解説する事典となります。
82	博物館と学芸員のおしごと：博物館概論	柴正博著	博物館学の概説書であり、実際に即して収集・調査・収蔵・展示・教育などの各部門ごとに解説。
83	文化財学入門	奈良大学編	文化財学の理念にはじまり、科学的調査や保存修理、防災など活動の取り組み例を紹介します。
84	ミュージアムの教科書：深化する博物館と美術館	暮沢剛巳著	主要な博物館を例に、社会的役割を解説して、今日の位置づけや活動の深まりを示します。
85	企業博物館とは何か：歴史・役割・可能性	古田ゆかり著	私企業が博物館をつくる意味、役割、公立との違いなどを細かくひもとく。
86	デジタルアーカイブの新展開	時実象一著	文化財のデジタル化、映画・新聞・テレビ・ウェブなどメディアのデジタルアーカイブ、3DやAIまで、近年のデジタルアーカイブを解説。
87	文化財の不正取引と抵触法	加藤紫帆著	世界中で止まない文化遺産の不正取引。文化遺産の不法輸出入にどう対応するか、法律から考察。
88	博物館・美術館の世界史	ボミアン、クシントフ、水嶋英治訳	古代から現代まで、世界各地の博物館・美術館の歴史を政治・社会・文化の視点から説く。全3巻
89	拡大する文化財・文化遺産：博物館資料新論	富岡直人ほか編	博物館法改正を受け、近代や自然史ほか拡大・多様化してきた資料、あるいはメディアの問題を取り上げる。